

「組み込みソフトウェア 設計図フォーラム（第二回）」

|      |  |
|------|--|
| タイトル | 組み込みソフトウェア 設計図フォーラム  |
| 概要   | <p>設計図フォーラムは、設計図を活用することで商品開発の成功と人材の育成の両立を実現するための情報交換の場です。</p> <p>今回は、3つの粒度での設計図の活用方法を紹介いたします。</p> <p>(1) アーキテクチャ設計図で、<b>アーキテクト</b>が正しく<b>判断</b>しプロジェクトを成功に導く</p> <p>(2) 制御対象の本質を捉え<b>抽象化</b>することで、<b>オブジェクト指向開発</b>を成功させる</p> <p>(3) 既存コードを<b>リファクタリング</b>して図面化することで、ソフトウェアを<b>資産化</b>する</p> <p>この他に、状態遷移設計、及び、リバース&amp;リファクタリングの紹介もごさいます。</p> |
| 日時   | <p>2016年7月7日（木）14時～17時（13時30分開場）</p> <p>懇親会：17時30分～19時30分</p>  |
| 場所   | 新横浜国際ホテル マナーハウス4階 ブループラム   |
| 主催   | ビースラッシュ株式会社  |

■時間割り

|                      |   |
|----------------------|---|
| 14:00～14:05          | 開会のあいさつ ビースラッシュ 山田  |
| 14:05～14:50<br>(45分) | <p>アーキテクチャ設計とアーキテクトの活躍 ～目指せアーキテクト～</p> <p>パナソニック株式会社 AVC ネットワークス社<br/>オートモーティブ開発センター<br/>プラットフォーム開発グループ<br/>ソフトウェアプラットフォーム担当総括<br/>上級ソフトウェアアーキテクト<br/>四反田 秀樹 様</p> <p>アーキテクチャ設計とは何でしょうか？アーキテクチャは何の影響を受けているのでしょうか？アーキテクトは何をやるのでしょうか？<br/>何をレビューすればいいのでしょうか？これらに1つの解を与えられたらと思います。また、アーキテクトが活躍出来るために組織に求めるべきことを述べます。</p> |
| 14:50～15:30<br>(40分) | <p>技術発表1：組込ソフトのオブジェクト指向開発を成功させる『抽象化』のポイント</p> <p>株式会社アマダ<br/>ソフト開発部門<br/>久我 雅人 様</p> <p>ソフトウェアの設計図面化を進めるにあたって、キー技術となるのが「抽象化」です。そもそも「抽象化」とはどんなことを意味するのか？「抽象化」するとなぜソフトウェアは良くなるのか？ 複写機・車載ソフト・工作機械と、さまざまな業界の開発現場でのオブジェクト指向モデリングの事例を紹介しながら、成功するための「抽象化」のポイントを皆さんと一緒に考えていきます。</p>   |
| 15:30～15:40          | 休憩  |

|                      |  |
|----------------------|--|
| 15:40~16:20<br>(40分) | 技術発表2：大規模リファクタリングの取り組み   |
|                      | 富士ゼロックス株式会社<br>清水 健一郎 様<br><br>富士ゼロックスの複合機ソフトウェアは、ここ10年で急激に大規模化し、複雑になりました。<br>そのため新規要求にすばやく対応できない、不具合対応に時間がかかる、といったことが開発上の大きな課題となっています。<br>発表では、商品開発を進めながら大規模ソフトウェアの保守性を向上させる、リファクタリング活動の取り組みを紹介します。                               |
| 16:20~16:40<br>(20分) | 技術発表3：状態遷移のすすめ   |
|                      | 東海ソフト株式会社<br>堀野 一彦 様<br><br>「ちょっとした機能変更でも工数がかかる。」<br>「多機種で作成した機能が簡単に移植できない。」<br>このような問題で困っていませんか？<br>弊社はこのような問題点を、状態遷移を用いて解決しました。<br>状態遷移の駄目な使い方と、上手な使い方を実例をもってご紹介させていただきます。   |
| 16:40~16:55<br>(15分) | 技術発表4：リバース&リファクタリングサービスの紹介   |
|                      | ビースラッシュ株式会社 山田 大介<br><br>既にあるソースコードが崩れてしまっている場合、崩れたまま機能追加や修正をしていると、余計な時間もかかり、かつ、エンジニアとしてのスキルもなかなか上がりません。<br>オフショアでリファクタリングを行い設計図も納品するサービスを紹介いたします。エンジニアは、納品された設計図とソースコードを用いて設計中心開発に移行できます。その結果、開発スピードの大幅な向上、及び、エンジニアの設計力向上が実現できます。 |
| 16:55~17:00          | 閉会のあいさつ ビースラッシュ 山田   |
| 17:00~17:15          | アンケート（2件）のご記入、名刺交換など<br>今回、JEITA ソフトウェア事業基盤専門委員会からのモデリングに関するアンケートもごございます、こちらにもご協力いただけますと幸いです。  |
| 17:30~19:30          | 懇親会（会場：ヒルトップ）  |
|                      | 事前登録なしで参加いただけます。（こちらも無料です）<br>情報交換の場としてご活用ください。  |

※タイトルと講演者は予告なく変更となる場合がございます